

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1							特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況				
					特定開発事業を行う区域の面積(m ²)	予定建築物の概要			エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電 定格出力(kw)	太陽熱利用	風力発電	水力発電	地熱利用	その他	検討なし					変更(予定)年月日及び変更事項※3	完了(中止)年月日			
						棟番号	用途	延べ面積(m ²)																			備考	変更(予定)年月日及び変更事項※3	完了(中止)年月日
006	(仮称) 港南2丁目共同住宅 新築工事	横浜市港南区港南二丁目15番10号	大和地所レジデンス株式会社 代表取締役社長 下村 俊二	分譲マンションを建設するため	11,058.70	1	共同住宅	17,775.10	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上6階(共同住宅193戸) 建築面積4174.12㎡	・一番南側の住棟は4mの はね出しバルコニーとし、 日射の強い夏季には日差し を抑え、日射遮蔽を回り、 日射角度が低くなる冬季に は日差しが入るよう考慮し た。 ・LED照明設備を導入した。 ・潜熱回収型ガス給湯器を 導入し温水式床暖房を併用 する事で冷暖房負荷を低減 した。 ・開口部のサッシには複層 ガラスを採用した。	・敷地には横浜市緑化地域 に定める緑化基準10%を超 える緑化を図った。 (緑化率10.54%、緑化面積 1045.04㎡) ・基準値以上の緑化を行う 事で地表面の温度上昇を抑 え、日射遮蔽を回り、日射 角度が低くなる冬季には日 差しが入るよう考慮した。 (再掲)	・駐車場設置(全137台)の中 に21か所EV車対応充電コ ンセントを設置した。 ・共同住宅に駐車場137台 (戸数比50%以上)駐輪場395 台(駐輪場100%以上)を設 置した。	・敷地には横浜市緑化地域 に関する条例に定める緑化 基準10%を超える緑化を 図った。(緑化率10.54%、 緑化面積1045.04㎡)(再 掲) ・基準値以上の緑化を行う 事で地表面の温度上昇を抑 え、日射遮蔽を回り、日射 角度が低くなる冬季には日 差しが入るよう考慮した。 (再掲)	・敷地内の残土搬出をな るべく抑え、輸送距離の最小 化を図る事で資材の運搬に 係る燃料消費、電力消費を 抑え、温室効果ガス排出 を少なくした。	△	△				△	△	●	●	△	コージェネ	棟番号1 【参考】 ・CASBEE横浜に よる総合評価 B- 以上	棟番号1 【参考】 ・CASBEE横浜に よる総合評価 B+ 以上	2023/2/9 延べ床面積 建築面積 措置の内容	2023/2/17
						2	共同住宅 (集会所)	60.15	木造 地上1階 建築面積60.15㎡																				
						3	駐車場 (バイク置 場)	30.00	鉄骨造 地上1階 建築面積30.00㎡																				
						4	駐車場 (バイク置 場)	15.12	鉄骨造 地上1階 建築面積15.12㎡																				
						合計		17,880.37																					
007	厚木駅南地区第一種市街地再開発事業	海老名市河原口字下長沢、河原口一丁目及び中新田三丁目地内	厚木駅南地区市街地再開発組合 理事長 石川 直良	本計画は、市街地再開発事業に併せて、土地の高度利用により賑わいの創出や道路、駅前交通広場等の都市基盤施設を整備し、地域交流拠点にふさわしい良好な市街地環境の形成、維持、保全を図っていく。	10,583.98	1	共同住宅 物販店	18,596.59	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上14階(共同住宅201戸) 建築面積2643.69㎡	・住宅性能評価による断熱 等性能等級4を取得。(共同 住宅) (外壁：吹付け硬質ウレタ ンフォーム、屋根：硬質ウ レタンフォーム保温板等) による断熱を図る(再掲) ・『海老名市住みよいまち づくり条例』で定められて いる緑化基準を超えた中高 木本数を植栽した(緑化基 準で定められる緑化基準は 高木10本、中木198本に 対し、植栽本数は高木86本、 中木337本)。(再掲) ・在来種であるシラカシ、 タブノキ、エゴノキ、イロ ハモミジ、ヤマボウシ、サ ツキ等を植樹した。 ・0棟2Fの屋上部分に屋上庭 園を設置した。(再掲)	・『海老名市住みよいまち づくり条例』で定められて いる緑化基準を超えた中高 木本数を植栽した(緑化基 準で定められる緑化基準 は高木10本、中木198本に 対し、植栽本数は高木86本、 中木337本)。(再掲) ・在来種であるシラカシ、 タブノキ、エゴノキ、イロ ハモミジ、ヤマボウシ、サ ツキ等を植樹した。 ・0棟2Fの屋上部分に屋上庭 園を設置した。(再掲)	・『海老名市住みよいまち づくり条例』で定められて いる緑化基準を超えた中高 木本数を植栽した(緑化基 準で定められる緑化基準 は高木10本、中木198本に 対し、植栽本数は高木86本、 中木337本)。(再掲) ・在来種であるシラカシ、 タブノキ、エゴノキ、イロ ハモミジ、ヤマボウシ、サ ツキ等を植樹した。 ・0棟2Fの屋上部分に屋上庭 園を設置した。(再掲)	・アイドリグストップを 助行した。 ・敷地外からの土砂の搬入 を抑制するため、掘削残土の 再利用を敷地内で行った。 ・製造、廃棄時にCO2排出量 が少ない建設資材を使用した。	△	△				●	●	△	コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★ ★B+以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイラ ンド現象の緩和 とスコア3.5以上	棟番号1 ・総合評価★★ ★B+以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率 81% ・ヒートアイラ ンド現象の緩和 とスコア2	2023/1/13 区域の面積 延べ面積 建築面積 措置の内容	2023/6/30			
						2	自走式駐車場	4,631.23	鉄骨造 地上5階(144台) 建築面積940.77㎡																				
						3	ごみ置場	45.60	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積52.48㎡																				
						4	バイク置場1	12.48	鉄骨造 地上1階(5台) 建築面積12.48㎡																				
						5	バイク置場2	12.48	鉄骨造 地上1階(5台) 建築面積12.48㎡																				
						6	駐輪場1	23.00	鉄骨造 地上1階(48台) 建築面積23.00㎡																				
						7	駐輪場2	14.90	鉄骨造 地上1階(30台) 建築面積14.90㎡																				
						合計		23,336.28																					
008	(仮称) アート ンライン 海老名特定流 通業務施設計 画	海老名市社家 字雄嶺野323 番ほか19筆	アートンライン株式会社 代表取締役 木谷 誠二	神奈川県内に新たな物流拠点を整備することで、物流拠点・輸送網を面的に強化し、トラックの輸送体制を構築します。また本施設にトラックの待合スペースを確保することで、トラックの非効率な入出庫の解消や無駄な荷役時間を削減し、トラックの回転率が向上するとともにトラックの待合スペースに合わせた能率的な拠点内作業が可能になり効率化が図れます。	19,233.01	1	工場 (倉庫)	15,219.42	鉄骨造 地上2階、地下0階 建築面積7,978.92㎡	・照明機器はLEDを積極的に 採用する。 ・自然環境保全条例・みど りの協定実施要綱に規定さ れる緑化基準25%以上の緑 化を確保する。(緑化率： 25.02% 緑化面積：4,733.04 ㎡) ・都市計画法の規定により 敷地面積の3%以上の公園等 を確保する。(公共緑地： 582.86㎡)	・所轄警察と協議の上、交 り通調査を実施し出入口等 の設置箇所を設定する。 ・敷地内に入りしする車道 は軌跡等による検討を行 い、車道の通行に支障がで ない計画を行う。 ・業務用車両のほか、従業 員用の駐車場、駐輪場を整 備する。	・自然環境保全条例・みど りの協定実施要綱に規定さ れる緑化基準25%以上の緑 化を確保する。(緑化率： 25.02% 緑化面積：4,733.04 ㎡)(再掲) ・都市計画法の規定により 整備を行う公園等で、植栽 帯・緩衝緑地帯を整備し緑 化景観を図る。 ・変更箇所においては、ヤ マボウシ、キンモクセイ等 の在来種による緑化を図 る。	・低燃費型建設機械を積極 的に採用する。 ・アイドリグストップを 助行した。 ・砂等発生する砂利・ 砂等は積極的に再利用を行 う。	△	△			●	△	コージェネ	棟番号1 ・総合評価★★ ★B+以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイラ ンド現象の緩和 とスコア3.0以上	棟番号1 ・総合評価★★ ★B+以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイラ ンド現象の緩和 とスコア2.5以上	2022/7/26 棟番号 延べ面積 建築面積 措置 内容	2022/7/29					
						2	工場 (給油所の屋 根)	18.00	鉄骨造 地上1階、地下0階 建築面積12.00㎡																				
						3	工場 (駐輪場の屋 根)	14.74	鉄骨造 地上1階、地下0階 建築面積7.67㎡																				
						合計		15,252.16																					
						009	(仮称) 綾瀬 物流施設計画	綾瀬市小園字 下原720-1他	株式会社IH1 代表取締役社長 井手 博 三井不動産株 式会社 代表取締役社長 蒔田 正信																倉庫業を営む倉庫の新築	27,055.49	1	倉庫	58,367.39
2	立体駐車場	2,706.60	鉄骨造 地上3階 建築面積913.22㎡																										
3	危険物倉庫	355.95	鉄骨造 地上1階 建築面積355.95㎡																										
4	駐輪場	11.40	鉄骨造 地上1階 建築面積5.70㎡																										
合計		61,441.34																											
010	慶應義塾大学 湘南藤沢キャン パス未来創 造塾 ウエスト街区 学生寮計画 (仮称)	藤沢市遠藤字 西ノ谷5232- 1、他	西松建設株式 会社 代表取締役 高瀬 伸利	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスに隣接する計画地(土地区画整理事業で換地処分済み)に、共用棟、宿泊棟(西棟、東棟)からなる学生寮を計画する。共用棟には管理部門及び食堂を配置し、宿泊棟に寮室、300人入居を配置する。	19,118.67	1	(宿泊棟東 棟)	共同住宅	4,956.23	鉄筋コンクリート造 地上5階、地下1階 建築面積1,289.84㎡	・空調屋外機は、屋上に設 置した(共用棟)。 ・中央広場の舗装に、透水 性インターロッキングブ ロックを使用した。 ・藤沢市健康と文化の森地 区、地区計画に定められて いる「大学関連施設地区」 の緑化基準30%以上の緑化を 図った。(緑化率： 37.75.83%) ・駐輪場は、敷地北西に自 転車150台分を計画した。 ・中央広場の舗装に、透水 性インターロッキングブ ロックを使用した。(再掲)	・計画地東側の既存樹木を 可能な限り保全した。 ・藤沢市健康と文化の森地 区、地区計画に定められて いる「大学関連施設地区」 の緑化基準30%以上の緑化を 図った。(緑化率： 30.13%、緑化面積： 3775.83㎡)(再掲) ・敷地東側の市道沿いに幅 のある地帯と遊歩道を設 け、周辺環境に配慮した。 ・のしぼ、おおむらさきつ つじ等の在来種により、法 面緑化をすることで、造成 法面を保護した。 ・宿泊棟の居室前に緑地帯 を設けることで、ブライバ シーに配慮しつつ、良好な中 央広場空間を創出した。	・低燃費型建設機械を積極 的に採用した。 ・アイドリグストップを 助行した。 ・グリーン調達を積極的に 実施した。	●	52.36	△			●	●	△	コージェネ ●高効率空調 設備	棟番号1 ・総合評価★★ ★B+以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率 100%以下 ・ヒートアイラ ンド現象の緩和 とスコア2.0以上	棟番号1 ・総合評価★★ ★A以上 ・地球温暖化への 配慮ライフサイ クルCO2排出率 97% ・ヒートアイラ ンド現象の緩和 とスコア3.5以上	2022/7/20 再エネ活用 検討 2022/10/24 再エネ活用 検討	2023/1/31			
						2	(宿泊棟西 棟)	共同住宅	4,808.48	鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階 建築面積1,276.89㎡																			
						3	(共用棟)	共同住宅	1,675.57	鉄骨造 地上2階 建築面積1,005.80㎡																			
						合計		11,440.28																					

